

環境情報利用分野

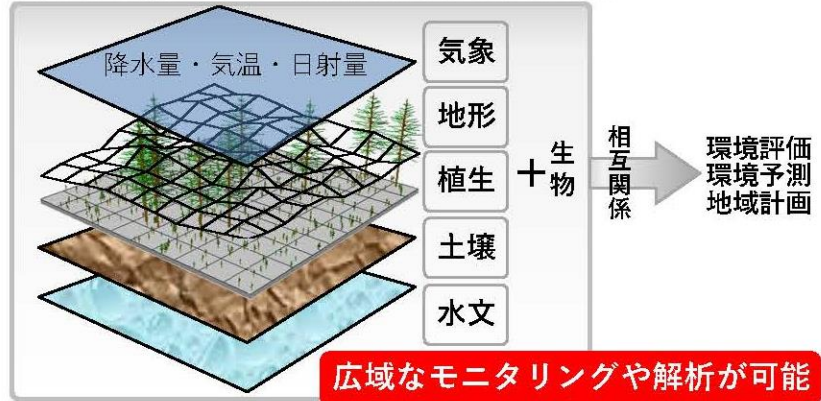
広域環境情報学研究室

広域環境情報学研究室では広域情報を駆使した環境評価を通して、環境に配慮した循環型社会、持続的農業の樹立に資する研究教育を行うことを目標としている。

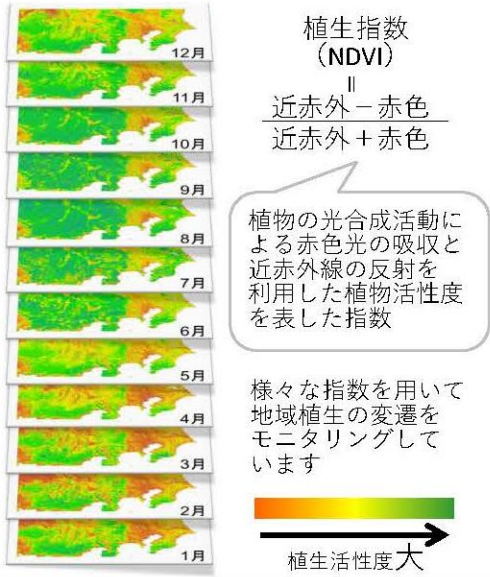
研究手法はGIS（地理情報システム）やリモートセンシング（衛星画像やドローンの空撮画像）を利用している。

土壌・水・植生・生物などから構成される地域環境の維持・保全・管理の重要性を評価し、持続的利用に向けた考察を行う。

広域環境情報の収集と利用の概念図



2012年東日本における植生活性度の変遷



GIS（地理情報システム） RS（リモートセンシング）
 道具として

研究地域は国内の地域環境だけでなく**海外の湿潤熱帯や乾燥地帯なども対象**とし、広域での調査・解析を行っている。



主要な卒論テーマ

- 茶の最適摘採時期の推定を目指したドローン搭載カメラのフィルタリング
- 世田谷区における局地的降水現象の解析
- モンゴル・ホスタイ国立公園におけるアカシカの生息地選択と資源利用
- インドネシア中部カリマンタンにおける干渉SAR解析を用いた泥炭地の地表変動量の推定
- 世田谷区二子玉川周辺におけるアブラコウモリの生息地選択の傾向
- 高分解能衛星画像を用いたシブチにおけるオブジェクト指向による土地被覆分類

卒業生の主要な進路

- 国土地理院／農林水産省／中学・高校教員／県・市区町村／土地改良区
- ESRIジャパン／パスコ／アジア航測／国際航業
- キタイ設計／中日本航空／大輝測量株式会社
- JRシステム／JA／三菱スペースソフトウェア／JTB
- 情報システム／NTTデータSMS
- いてあ／NTCインターナショナル／チノー

所属教員



島田 沢彦 教授

～ 主な研究テーマ ～

- 衛星画像データを用いた植生モニタリング
- インドネシア熱帯泥炭地の環境評価
- モンゴル草地の土地被覆分類



関山 絢子 准教授

～ 主な研究テーマ ～

- モンゴルにおける草地環境の計測・評価
- モンゴルアカシカの行動調査と植生資源利用
- ドローン空撮画像を用いた農地モニタリング